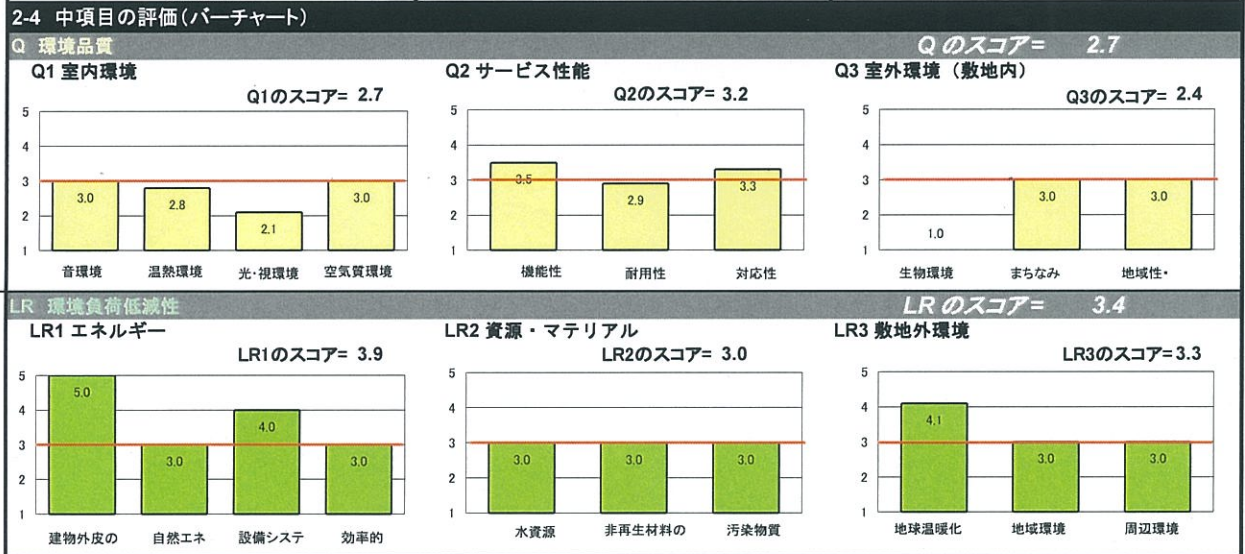
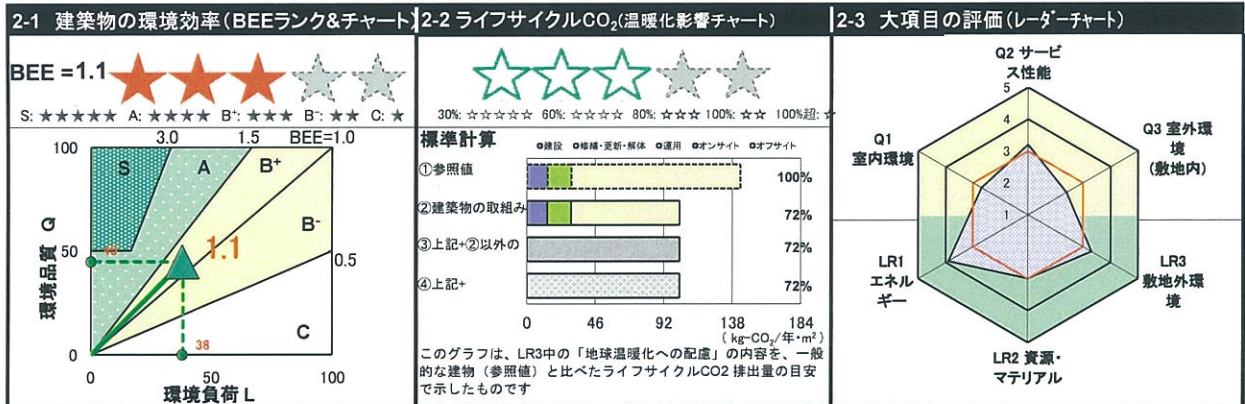


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	米子郵便施設(仮称)新築工事		階数	地上3F地下1F
建設地	鳥取県米子市大谷町256-1		構造	S造
用途地域	準工業地域		平均居住人員	0人
地域区分			年間使用時間	7,300時間/年
建物用途	事務所		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月	0.0	評価の実施日	2016年1月16日
敷地面積	3,980㎡		作成者	野口
建築面積	2,287㎡		確認日	
延床面積	5,336㎡		確認者	野口



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 浸水・漏水・外気浸入リスクに対する建物性能保持とローコスト化。		<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。作業室においてエアークリーンファンを設置し、作業者の快適性向上、外気による結露防止を行う。また気流解析を行い、その結果をもとに空調設備の台数選定を行う。	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 将来的な建物利用を見込み、作業室、会議室スペースの一部を拡張可能な設えとしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 積雪時に搬出入動線の安全性を確保するため、ロードヒーティングを採用。敷地面積の3%以上を緑化し屋外空間の温度上昇を緩和。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 給湯方式として自然冷媒である大気熱を利用して湯沸かしを行うエコキュートヒートポンプを採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 既製杭打設工事に伴い発生する杭残土を場内埋め戻し土として利用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物利用者のための適切な量の敷地内駐輪場及び駐車場を確保。管理者・従業員車両や荷捌き車両のための駐車施設の確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される